

## [72] 史淵表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2334008>

---

出版情報 : 史淵. 72, 1957-02-28. 九州大学文学部  
バージョン :  
権利関係 :

# 彙報

## 国史学科の動向

十二月七日 昭和三十一年十月進学生十六名の歓迎コンパを工学部地下食堂で行った。

十二月十六日 日曜日、第一演習室において午前九時より午後六時迄、昭和三十一年三月卒業予定者の卒業論文構想発表を行った。その発表題目と発表者の氏名は次の通りである。

豊前上代寺院址の研究

小田富士雄

封建制成立の一類型

水上 雅勝

——鎌倉初期の南九州を中心として——

大友宗麟について

柴戸 一成

江戸時代初期の対外政策と特権商人

大鹵 辰美

筑豊炭鉱史

大塚 真介

明治初年福岡県の農民一揆

長 和栄

石川啄木について ——その女性観——

田中 友子

三池炭鉱労働運動史の研究

上妻 幸英

——大正十三年の争議を中心として——

猶、当日都合に依つて発表出来なかつた分の論題と氏名は次の通りである。

九州探題の研究

梁井 光寿

石川啄木について

戸田 学

二月一日 「九州史学」第三号の発行をみた。執筆者及び論題は

次の通りである。

自然真営道「三巻本」と「百巻本」との関連について

西尾陽太郎

近世北九州における地主経営の一例

野口喜久雄

太良荘の農民

後明 栄次

——建武元年八月地頭代官排斥運動を中心として——

藩体制の確立過程

森山 恒雄

——肥後藩に於ける知行政策——

福岡藩の石炭採掘形態

大塚 真介

肥前国荘園分布図

竹内 理三

二月六日 昭和三十一年三月卒業予定者の予餞会を午後三時より三畏閣において行つた。卒業者諸兄弟姉の健康と発展を祈るや切。

研究会 は引続き続日本紀、類聚三代格、令義説、及び石母田正氏の論著を中心とする討論会を毎週行い、中世史研究会は吾妻鏡の論説を、近世史研究会は近世地方文書の講説を毎週行つてゐる。

## 西洋史学科の動向

西洋史研究会

第六十一回例会 十二月十八日(火)

フランス革命における国有財産の売却

竹内 洋子

第六十二回例会 二月五日(火)

一八七〇年代のウクライナの労働運動

倉崎 繁

## 東洋史学科の動向

昭和三十一年度卒業論文題目

